

## 2022年度新生 入学式祝辞

トヨタ学園豊田工業大学、理事長の増田です。皆様のご入学をお祝いして祝辞を述べさせていただきます。

学部へ入学、編入された皆さん、大学院の修士課程へ入学、進学された皆さん、おめでとうございます！また、サテライトにご列席の、ご家族の皆様をはじめ関係の方々にも心よりお祝い申し上げます。

本日の良き日を迎えることができたのは、ここに入学した皆さんの努力の賜物ではありますが、ご家族はじめ、ご指導をいただいた先生方や、企業から来られているの方々においては職場の上司や派遣元の経営者の方々など、ここまで支えていただいた人たちへの感謝の気持ちも大切にしたいと思います。

豊田工業大学の創立は、日本で自動車事業を興した豊田喜一郎氏の、その事業が発展した折には大学を設立し産業を支える実践的技術者を育てたいとの強い思いによっています。その名を冠したこの豊田喜一郎記念ホールで、今回は、2回目の入学式となります。

本学は、昨年、開学40周年、博士課程開設25周年の節目でした。その時期に合わせて素晴らしい新キャンパスが、トヨタ自動車はじめ多くの会社からのご寄付により完成しています。新装なったキャンパスはすべて、より良い教育・研究ができるように工夫を凝らして設計されていますが、コロナ禍で制約がありその機能を100%まだ活用できていません。今年度からは、感染対策に配慮しつつ、可能な限り制約を減らし、当初の狙いである快適な学修環境を提供できるようにしていきたいと考えています。

さて、学部へ入学、編入されたみなさん、これまでの2年間の生活はいかがだったでしょうか？ デジタルツールが便利になったとはいえ、直接、友人、仲間などと合って行動したり語り合ったりする機会が減り、なにか物足りない感覚を持って、この入学式に臨んでいないでしょうか？

本学には、小さい規模の大学であることを活かして、皆さんの成長の歩みを支援していく伝統がありますが、教員と事務員たちが、ウイズコロナの時代にさらに工夫をしてみなさんを身近で支えていこうとしています。ぜひ、わだかまりなく、これから行動していただいてよいかと思います。

この豊田工業大学の特長の1つ目は、これからの大学生生活を自信と誇りを持って過ごしていただけるように工夫したカリキュラムを準備していることです。それは、基礎・専門講座に加えて、体験型学習・実習教育が設備も含めて充実していること、また、今年度から再開することになる寮でのグループに分かれた共同活動もあります。さらに、工業大学ですが教養科目に非常に力を入れていきます。

特長の二つ目は、ここに揃った皆さんは、長い人生のよき友を得ることができます。一学年100人程度という少ない定員は、仲間をよく知り、お互いに啓発し、切磋琢磨しながら成長できる貴重な交友関係の場となります。ぜひ、積極的に仲間づくりをして、よき友を得るようにしていただきたいと思っています。

皆さんが、これからの新生活を思いっきり過ごすことで、気が付けば、人としての魅力が増し、ひとたびことにあたっては、実践力と創造力にあふれた対応ができる能力を身に着いた人に育っていく、と確信しています。

さて、大学院修士課程に入学されたみなさん。  
皆さんには、それぞれの専門領域において、工学を、さらに進めて学んでいただくことになります。

地球温暖化問題、コロナ禍やウクライナイ情勢をみても、世界は一つにつながっていて自分の国だけでは生きられないことを強く実感されていると思います。ぜひ皆さんには、グローバルにつながった大きく変革する社会でたくましく生きていく力を身に着けていただきたいと思っています。

私の開発技術者として長く働いてきた経験から、修士課程において学んで欲しい感性があります。それは、「オリジナリティへの敬意」と「自らのアイデンティティを表現することの大切さ」です。言い換えますと、「他人が考え生み出したことと、自分が考え生み出したことを区別できる力」、また、「自分が自分であることを相手に伝わるよう表現できる力」を身に着けていただきたいということです。修士研究はこれを学ぶよい場だと思っています。

また、ひとつ加えさせていただくと、「時代を拓く力」をさらに磨くために、自分のキャリア形成として博士課程進学も考えていただきたくと思っています。現代社会は、非常に高度化しかつ複雑化した技術が緊密に社会とつながって大

変な速度で時代変化しています。このような時代に、志あるみなさんの「時流に先んずることのできる」、「時代をリードできる」資質は、博士研究による鍛錬によってさらに大きく伸ばすことができると考えています。このような成長の場を提供するため、博士研究を指導する教員団、研究環境に加えて、博士学生への生活資金給与までを含めた充実した奨学制度を本学では準備しています。また、実態として、工学博士は就職には困りません。充実した博士課程があることは、本学の魅力です。

最後になりますが、みなさんの健康を第一に、誤りや失敗を恐れず、おおいに活動して、仲間や教員とも語らい、これからの学生生活をめいっぱいエンジョイしてください。

これをもちまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。本日はおめでとうございます。